

みなかみ

議会だより



平成 26 年度決算 2・3P

補正予算 5P

活動報告 8P~

一般質問 11P~



群馬県利根郡みなかみ町

平成27年(2015年)
10月15日発行

42号

写真：新治小学校運動会

主な事業成果

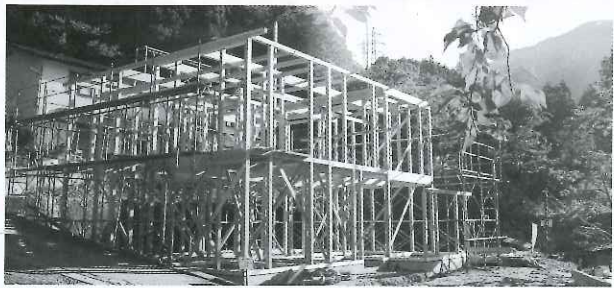
建設：町の未来化



真政悪戸線道路工事現場

- ・真政悪戸線道路工事…………… 23,600万円
- ・中学校グラウンド線道路工事…………… 4,090万円
- ・後閑集会所施設建設工事…………… 6,170万円

補助：使って身になる



住宅補助事業

- ・子育て家庭新築住宅補助…………… 500万円
- ・住宅新築改修費補助…………… 1,300万円
- ・プレミアム商品券補助…………… 1,196万円
- ・路線バス回数券補助…………… 1,500万円
- ・地場産業補助…………… 940万円
- ・起業・人づくり補助…………… 880万円

物件：整理整頓



▲旧ホテル関所解体前



旧ホテル関所解体後▶

- ・総合体育館耐震工事…………… 19,688万円
(H26年度より繰越事業)
- ・旧ホテル関所解体撤去工事…………… 11,290万円

扶助：安心・安全な暮らし



- ・子育て支援…………… 2,700万円
(出産・入学祝い金、センター費など)
- ・予防接種費…………… 4,300万円
(予防接種・インフルエンザワクチン)
- ・後期高齢者給付費…………… 3,880万円
- ・敬老祝い金…………… 1,270万円

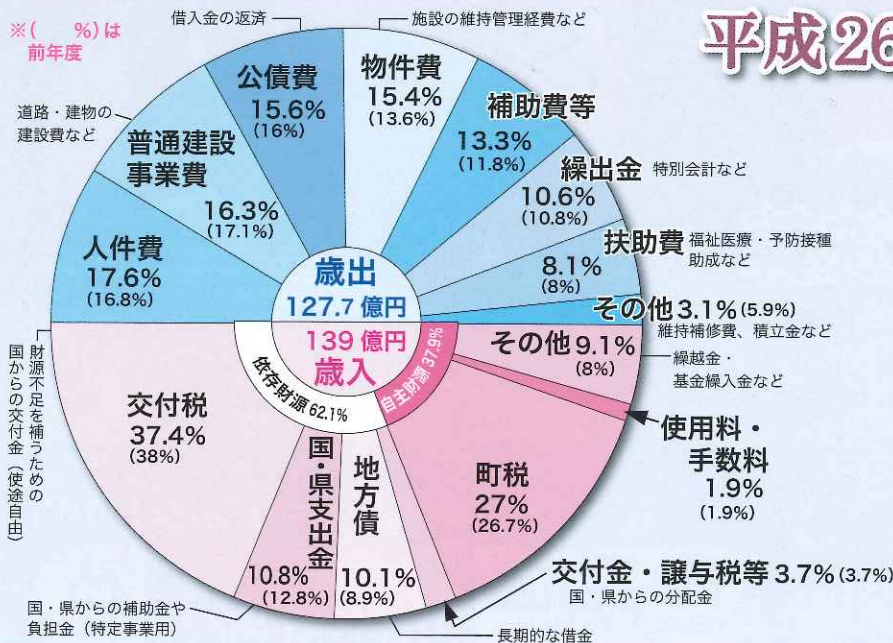
平成26年度財政内容

歳入 - 歳出
= 11.3 億円



H26年度未完成事業を、H27年度事業として繰越し、その財源もH27年度予算に繰越すもの(6.4億円)

基金に積立 (2.5億円)
H27年度への繰越金(2.4億円)



認定! 今年の「まちづくり活動費」

毎年9月の議会では、前年度(4月～翌3月)の財政の確定的な計数(決算)を審査します。今回は、7月～8月の間に10日間行われた審査委員の審査を経て9月議会に上程され審議しました。一般会計(まちづくりに必要な経費)での主な使い道を代表監査委員からなされた審査結果報告と併せて紹介します。

グラフのとおり財政は、より健全化へ進んでいます。

実質公債費比率



※実質公債費比率

公債費(借入金の返済)とそれにかかる経費を財政規模に対する割合で表したものの、
——返済額の割合

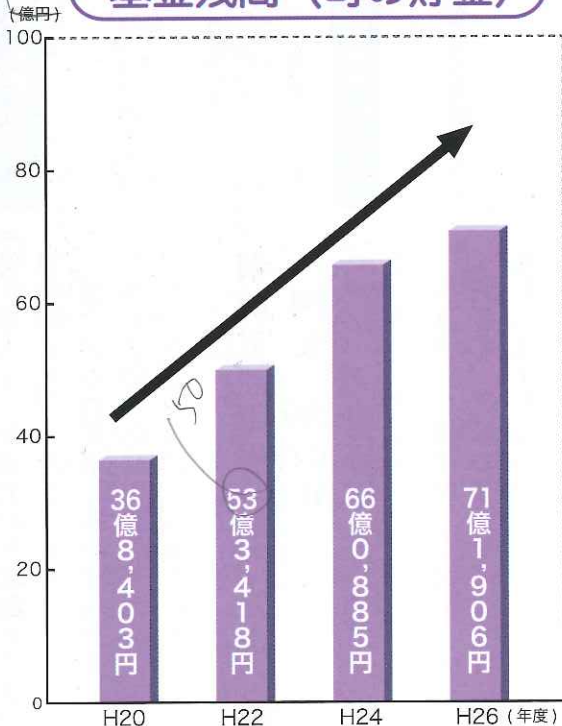
将来負担比率



※将来負担率

将来の支払予定額(負債など)を財政規模に対する割合で表したものの、
——借金の割合

基金残高(町の貯金)



※「基金」とは、目的達成のために設ける財産で、平成26年度は14種の目的別に積み立てられています。

審査結果意見報告(総括)

1. 未徴収の金額を増やさないこと。
2. 地方交付税の削減を想定し事務事業の必要性・重要性についてさらなる検討を進め経費節減に努める。
3. 積立基金の適切な管理を行い、安定した行政運営を検討する。
4. 行財政改革ではさらなる人材育成を行い、効率的な行政運営を進める。
5. 防災対応では、総合的な見地から対応策の確立を。
6. 高齢化に向けては、先を見越した手法の確立が重要で有り十分動向を注視し、新たなまちづくりの体制の確立を。
7. 商業振興では、地元商店を活性化させる事業やアイデアをもっと検討し、補助事業や町独自の助成制度等も考慮し策を計る。

本会議

平成26年度決算認定討論

一般会計

賛成多数 15..2

反 原澤良輝 議員

消費税増税をした本決算は町民の目線に立っていない。

賛 高橋久美子 議員

基本構想、基本計画に沿った施策の事業展開がされ、財政の健全化が客観的にあらわれている。

国民健康保険

賛成多数 15..2

反 林 誠行 議員

大幅な赤字が計上された。再度の引き下げを求める。

賛 鈴木初夫 議員

歳入総額は前年度比0.04%増え、歳出総額は0.2%の微減。今後も健全な運営。

後期高齢者医療

賛成多数 15..2

反 林 誠行 議員

高齢者を差別する制度の早い廃止を求める。

賛 高橋久美子 議員

広域連合と安定した運営制度が図られている。

介護保険

賛成多数 15..2

反 林 誠行 議員

介護報酬引き下げで事業所の閉鎖・撤退・転業が進んでいる。高齢者が安心して利用できるよう要望する。

賛 高橋久美子 議員

要介護認定者数の伸び率に比べ、給付費の伸びを抑えることが出来たことは評価できるもの。

下水道事業

賛成多数 15..2

反 原澤良輝 議員

緑の県民税等を起債の利子補給に使うなどの制度改革の必要がある。

賛 森 健治 議員

使用料は収納努力をし、汚水処理人口普及率は0.5%上昇。施設老朽化対策等、公共用水域の水質保全に貢献している。

水道事業

賛成多数 15..2

反 原澤良輝 議員

損益勘定留保資金と減価償却の扱いを含め書類操作で赤字を黒字に見せる会計処理に反対。

賛 森 健治 議員

ライフラインの確保と充実を図っている。

条例 ● 議会の条例を一部改正。

女性議員出馬に配慮の光



国会と県議会では、既に規定されている議会欠席事由に「出産」を盛り込む条例改正を行いました。内容は、標準の改正に沿って行い、これまで出産による議会の欠席事由を事故扱いとしてきたものを、「出産のため出席できないときは日数を定

め、あらかじめ議長に欠席届が提出できる」と具体的に明記いたしました。

議会の女性参画に向け環境整備の一步とし、今後必要に応じて対象者や期間など随時検討していくことなどが協議されました。

● 防災無線の設置や管理に関する条例を一部改正。

オフトーク通信終了

今年2月に通知終了しているオフトーク通信に関して、区域の改正や審議委員についての記載を削除するものです

● 個人保護条例と手数料徴収条例を一部改正。

マイナンバー制度開始に向けて

今年10月に通知され、来年1月からは、申請すると個人番号カードが交付されることから、個人情報の保護や交付手数料等の条例が改正されます。



人事 お世話様になります

人権擁護委員

石坂 和利氏 (後閑)

公平委員 (再任)

富澤 豊氏 (下新田)

教育委員会教育委員 (再任) 阿部 剛氏 (湯檜曾)

本定例議会では、次のことについて審議し、全て承認・可決しました。指定管理施設等の報告4件、承認1件、契約締結1件、条例5件（関連4頁）、決算認定6件（関連2～3頁、4頁、6～7頁）、補正予算3件（本頁）、その他人事案件等3件（関連4頁）。

9月補正予算

一般会計総額 / 143億8281万円

補正額 / 4億8599万円

歳入	普通地方交付税	3億2373万円
	公共土木施設災害復旧事業負担金	1330万円
	地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）	6000万円
	① ふるさと寄付金	6000万円
歳出	② 森林資源循環・木質バイオマスエネルギー活用調査事業	988万円
	① ふるさと納税推進事業	4200万円
	① みなかみ・水・「環境力」基金管理事業	6000万円
	② クロスセル推進事業	4000万円
	土木施設災害復旧事業ほか	1億1051万円

① 環境力基金はふるさと納税の寄付金を用います

問 みなかみ・水・「環境力」基金とは。

問 ふるさと納税の現在の実績は。

答 ふるさと納税で寄せられた寄付金を、自然・環境に関する事業に用いるための独自制度基金です。

答 6月1日から返礼品を設け、9月2日までの寄附件数1434件で、金額は3050万8000円です。

② 滞在時間を増やすクロスセル活用

問 クロスセル推進事業ではどのようなことを行うか。

10周年記念事業・閑散期間・平日の稼働率を考え、クーポン券発行で町内体験をしてもらうことを検討中。

答 観光会議やビジョン委員会答申で話されたことを踏まえ、

※クロスセルに関連する商品・サービスを売ること。関連する別の商品も推薦して、販売に繋げること。

③ 木質バイオマスエネルギーへ転換？

問 具体的に行う調査は。

答 森林資源の搬出運搬体制づくりとエネルギー需要量調査、

木質バイオマス導入の可能性調査、地方創生に繋がるビジネスモデルの検討、地域エネルギー推進協議会との連携調整。

決算連合審査

平成26年度の町の予算について、一般会計及び特別会計予算の決算認定に向け、3つの常任委員会合同で審査(連合審査)を行いました。主な審査内容をお知らせいたします。

私たちの身近に利用された主な補助

問 路線バス回数乗車券で、回数券の購入枚数は。

答 5000枚作成し、平成26年度は4798枚販売しました。

問 空き家バンク事業で、利活用の周知を。登録に向けてのアクション・アプローチは。成約5件は、町外の人か。購入用途は移住か、別荘仕様か。

答 主な周知は広報やホームページですが、不動産業者が入っており情報発信もしています。また、東京で暮らしの相談会に年7回、参加しPRしています。本年度になってからの登録は20件。成約は5件です。町内2件、町外3件で、町外は住居目的です。

問 ふるさと納税推進事業の観光案内業務の委託先は。また、どのような内容か。

答 委託先は観光協会です。内容は、ふるさと納税をした方を招待し、1泊で谷川岳の電気バスに乗り散策し、水月夜をお土産としていきます。

問 被災農業者向け経営体育成支援補助金の対象者は。また、金額の最高額と最低額は。

答 倒壊ハウスは290棟位、国庫補助事業対象者が48名で、自力での復旧は対象外です。再建は47棟、撤去83棟(再建も含む)です。平成27年度への繰越は19名。最高額は2棟で1060万円、補助金が90%、最低額は2万円弱です。

介護施設利用者の状況

問 障害者自立支援給付費の介護給付費について、登録者数、利用者数を。

答 居宅介護利用者350人、短期入所利用者46人、療養介護利用者60人、生活介護利用者700人、施設入所支援利用者544人、共同

生活介護利用者10人。合計1710人で、単純計算で月あたり143人です。

施設の整備状況

問 川手山森林公園管理事業については現在、あずまやとトイレの維持管理はあるようだが、またキャンプ等出来るか。良い場所なので、何か良い使い方がないか。また、本当に使わないのであれば地権者に返すのも有効ではないか。

答 現在活用の計画はありません。使えますが、現状は荒れています。方向性は、これから検討していきたいと思っています。

問 消防団に配置されている機械器具の小さな故障は分団で対応の話聞いたが、町が直すのだと思うがどういう棲み分けになっているのか。3カ年計画で組織再編はどう考えているのか。

答 基準を設けており、電球切れ等小さなものは地元分団で、ポンプ・車両等の大きなものについては町で行っています。再編については、消防団会議、消防委員の会議等で議論されており、平成29年度を目標に検討しています。

石器時代の再発見は

問 水上石器時代住居調査で大穴地区には、再発見があるか。また、調査は継続するか。

答 国の指定文化財で文化庁から依頼があり、遺跡の広がり調査を行いました。平成26年は土器の破片等少量の発見がありました。今年度までの2年に渡る調査書を作成して、終了する予定です。



大穴の石器時代住居跡

委員会

下水道会計

問 分担金・負担金等の歳入未済が2167万円ほどある。対処方法について考えはあるか。

答 28年度以降は法的措置も含めて考えていきたいと思えます。

問 公債費が、このような体系では元金の返済が進まないと考える。水道会計と統合して運営することは考えられないのか。

答 国から3万人以上の団体は公営企業会計を導入するよう指導があるので、いざずれ小さい団体も導入することになると思うが、現時点では無理であると思えます。

水道会計

問 滞納は2年で時効が成立するがなくなるか。

答 分納誓約書で時効の中断となります。滞納により休止停止となるので、分納誓約書を書いていただいております。

みなさんからの請願

請願事項	提出者	所管委員会	委員会審査結果
請願第7号 「安全保障関連法案の制定に関する意見書」の提出を求める請願書	みなかみ町月夜野勤労者協議会 会長 佐藤 健一郎 みなかみ町新治勤労者協議会 会長 高橋 扶吉 みなかみ町阿能川 875 阿部 圭助	総務文教 常任委員会	継続

「請願委員会審査意見」

○衆議院から始めて、審議されているところでもあるので見守る必要がる。この法案は大変重要だとは思いますが、政府の動きを慎重に見聞きして判断していくべきだと思う。

○参議院の中で議論されている、十分時間をかけて国民に理解を得て議論した中で決定していただきたい。その様子を見守りたい。

○議論を深めるといふのは必要であり、国会での審議を見守り、慎重な審議をしていただくことが必要だ。戦争に直結するとか、憲法違反というのを判断するのは難しい。国会の審議を見守る必要を感じている。

○国会で審議されている中で結論が出てくるが、それを見守っていきたい。

このような意見が出され、阿部委員長の進行のもと「継続審査」となりました。

調査にみえました

3町村の議会に視察して頂きました

●山梨県身延町議会様 みのぶ 7月14日／総勢16名

「議員報酬及び議会活性化」について

●東京都三宅村議会様 7月28・29日／総勢3名

「交流強化の可能性調査」について

●埼玉県ときがわ町議会様 10月1日／総勢8名

「スポーツによるまちづくり」について



身延町視察団

調査してきました

●交流調査特別委員会 8月18・19日／総勢8名

東京都三宅島及び三宅村議会

「交流強化の可能性調査」について

2月の正副委員長の調査（40号掲載）に続き、7月に三宅村議会からの訪問を受け、今回8月に交流調査全委員で現地調査を行いました。

今後の委員会で、相互交流強化の可能性について精査していきます。



三宅防災センターの見学

管内調査しました

●総務文教常任委員会 9月11日

「名胡桃城址保存工事現地確認」



名胡桃城址保存工事現場の視察



道路の改良が望まれる大道峠

大道峠、大型バス通行に光を 中之条湯河原線等整備促進期成同盟会設立

8月31日、猿ヶ京においてみなかみ町と中之条町を結ぶ道路改良を目的に、みなかみ町長・中之条町長を正・副会長とし、倉島県土整備部長を始め多くのご来賓の出席の下、中之条湯河原線等整備促進期成同盟会の設立総会が開催されました。

この道路は、みなかみ町と中之条を結ぶ重要路線でありながら、大道峠を中心に未改良部分が多く、大型車の通行が困難でした。

沼田土木管内の椎坂トンネルの完成に伴い、議会を中心に峠の改良を申し入れ、沼田・中之条の土木所長のご理解をいただいた経緯があります。

現状の未改良区間

●みなかみ側

入須川工区 1860m
(概略設計実施中)

須川工区 1000m
(須川～17号線接続)

●中之条側

西沢工区 1200m

礪石工区 500m

西中之条工区 500m
(工事実施中)

中期除雪計画策定に向けて

除雪費用削減の先進地視察 『札幌市』

8月25～26日

平成27年～31年までの冬の安全確保に向けた、みなかみ町中期除雪計画の策定が検討されています。町の除雪費用は、毎年約3億円が支出され、大きな財政負担となっています。産業観光常任委員会では、除雪費用の縮減の必要性からロードヒーティングの停止を実施した札幌市に、地域整備課とともに先進地視察を行いました。

●視察の目的

ロードヒーティングの運転停止による除雪費用の削減効果と安全確保に向けた対策

●実施までの検討課題

- 1 勾配が6%未満
- 2 除排雪や凍結防止剤の散布強化による安全確保
- 3 警察等、関係機関との協議
- 4 停止後3年間は再稼働できる

●今後

除雪体制の強化・滑り止め効果の高い舗装の採用など、路面の安全確保を図りながら、中期除雪体制策定に反映していく。

「融雪費ランニングコスト」

平成26年度

燃料費	1457万円
光熱水費	5277万円
修繕料	478万円
委託料	531万円
県負担金	270万円

合計 8013万円

群馬県総合防災訓練が実施される

総務文教常任委員会
議会だより特別委員会

9月5日、沼田市沼須町利南運動広場に於いて平成27年度群馬県総合防災訓練を視察しました。

群馬県北部を震源とするマグニチュード7.0の直下型地震が発生したことを想定し、航空被害調査訓練・倒壊建物救出訓練等、17種の訓練が行われました。

昨今の異常気象により、土砂災害の危険性を多くに含んでいる当町においては決して他人事ではありません。常日頃からの防災意識や、備えがいかに重要であるかを痛感した一日でした。



ヘリコプターを使った防災訓練

全国農村サミット inみなかみ町に参加

9月1～2日に日本大学が主催し町などが後援する「全国農村サミット inみなかみ町」に参加しました。

水上地区には、日本大学の演習林150ヘクタールと研修施設があり、地域と大学の連携を掲げ「地域の課題・活動を大学の教育・研究に生かす」ことを目指す大学が、大学施設のある自治体と共同で開催しています。議会も地域振興のため、前回の静岡県下田市に代表を派遣し研究。今回も全議員が参加しました。

サミットは1日、谷川岳周辺を3班で踏破。

2日は、カルチャーセンターで「地域資源の活用と農林業・観光振興」をテーマに4人の報告とパネルディスカッションが行われました。



農村サミットの様子

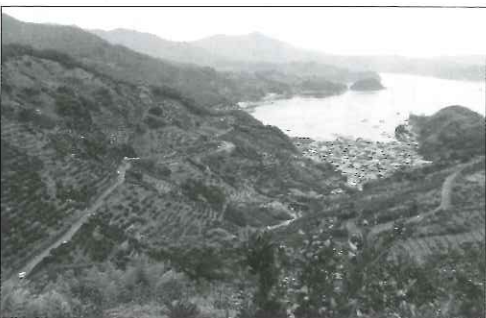
全国中山間地域振興対策協議会に参加して

28年度はみなかみ町で開催!

8月27～28日、愛媛県西予市で、全国中山間地域振興対策協議会が開催され、全国から61名が一堂に会しました。協議会ではその地域特性を活かし、創意工夫により地域が元気に活性化している実情を視察しながら情報交換が行われ、議会より3名と職員3名が参加しました。

標高差1400メートルを彩る海、里、山の原風景を楽しむことが出来る四国西予ジオパーク内の狩浜の段々畑を視察。

石灰岩の石垣が山の頂きに向かって段々に作られたみかん畑には、厳しい農業環境のなかでも、決して諦めない先人の強さを感じられました。それを受け継ぎ一人一人が輝きながら運営される無茶々園は、地域の少子高齢化問題にも取り組んでおり、日本が抱える課題の一つの答えを出しているように思いました。



愛媛県西予市の段々畑

主 な 質 問 事 項

一般質問

町政を問う

Questions

4人が

質問を行いました。

原澤 良輝

①今後の国民健康保険の運営

②後閑地区・地下壕の実態調査について

③町に緩速浄水場をつくりおいしい水の給水・湧水美味しい水マップの作成について……………12

高橋 久美子

①「18歳選挙」の取り組みについて

②防災対策について……………13

林 誠行

①「大型店出店」と、

町内小売業者への影響とその支援について

②道路の環境改善について……………14

前田 善成

①小児科夜間救急医療対策について……………15

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果があります。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっています。



原澤 良輝 議員

さらなる国保税の引下げは

町長 年度末で見通すことは、当然考えなければいけない

問

国保財政の基盤強化のため国と地方の協議で、国が毎年3400億円の公費支援に合意。今年は1700億円を予算化。町への支援額と国保税引き下げによる影響は。

答

町長 低所得者対策で1人当たり5000円が軽減される予定。
町民福祉課長 町は約5600万円の支援です。

問

H26年度の決算は黒字。基金を含め剰余金は約8億円。H28年以降も支援金があり、同年度も国保税引き下げの検討を提案したい。

答

町長 今年度の状況で検討したい。

「後閑・地下壕」実態調査を求める

問

戦後70年が経過し、戦後生まれが1億人を超え、戦争体験の風化が進む。軍が飛行場の疎開を決め、中国人強制連行者の過酷な労働など戦争体験を、後世に残す必要がある。地下壕の実態調査と見取図作成。利用方法の公募や検討委員会の設置は。

答

町長 貴重な戦争遺産と認識している。
教育長 安全を最優先しなければならず、史跡として公開出来るようにすることは大変困難だ。

美味しい水の給水と湧水マップの作成

問

アメリカでは、水道水中の腐食物と塩素が反応し、発がん性物質「トリハロメタン」の発生が問題視されている。浄水場用地のある所は、自然の浄化力を上手く利用し、安全でおいしい水を給水する緩速濾過方式を検討しては。

町長 アメリカでは、水道水中の腐食物と塩素が反応し、発がん性物質「トリハロメタン」の発生が問題視されている。浄水場用地のある所は、自然の浄化力を上手く利用し、安全でおいしい水を給水する緩速濾過方式を検討しては。

答

町長 町の水道水源は表流水11、井戸・湧水3カ所。急速濾過方式は12カ所。水質検査では国が示している基準である。



庁舎に設置されていた『ウォーターバー』(9月30日まで)

問

湧水マップを作り観光の目玉にしては。

答

観光課長 三峰湧水はPH9.1のミネラルを含む軟水。ペットボトルをふるさと納税のお礼やイベントで使っている。町のマップ作成は湧水の整備や安全確保等の課題がある。

※1原水が細かい径の砂層(濾層)を一日3〜6メートルとごく遅い速度で濾過されることです。この方式は砂層の表面に微生物の粘質膜ができ、濁りや細菌、藻類、油やアンモニア生窒素、有機物や異臭味、鉄やマンガンをまでもが効果的に除去される。

※2急速濾過は、濾過速度が非常に速いことが特徴。濾過速度は、一日120メートルです。特長は、濾過速度が速いため設備面積が少なく済み、大量の濾過水をつくる事が出来ることです。急速濾過では塩素処理による消毒が必須条件になります。



高橋久美子 議員

「18歳選挙」での、新有権者の数は

町長 おおむね400名

問 新有権者数は何名位になるか？

答 町長 400名位。

問 大学生は、住民票を移動していないケースが多い。不在者投票が必要と思う。啓発や周知とともに、意識調査をし、具体的に取組む必要があると思うが見解を伺う。

答 町長 インターネット上からも、申請書式をダウンロード出来るようにしている。来年から新しい有権者が生まれる、という事に対しての個別な動きは始めてない。

問 主権者教育が求められているが、学校現場のとりくみを伺う。

答 教育長 中3の公民的分野で、国民主権を担う公民として、必要な基礎的教養を培う。町独自の取組みとして、中学生による子ども議会を開催している。

問 選挙出前授業等のお考えは。

答 町長 具体的には利根商をイメージしているが、何が出来るのかを相談していきたい。

町の災害対策における、今後の問題点は

問 近年の異常気象により、町でも土砂災害が発生。ハード面の災害対策だけでは厳しいと感じる。対策本部を設置し、総括もされたと思うが今後の課題は。

答 町長 情報を明確に認識し、優先順位をつけながら、進める事が重要と思う。

問 防災計画に防災訓練の実施が掲げられているが、どのようにお考えか。

答 町長 形式的な訓練であれば、あまり意味がない。避難所単位の訓練が大事との認識である。

問 防災教育としてどのような取組みをされているか。又、防災士・自衛隊・消防・警察のOBの登用など、人に視点を当てた取組みについても伺う。

答 町長 行政区単位で防災教育等の機会をつくり、自主防災能力を上げていく。防災士、専門家、総務課の職員が能力をあげることが大事。



湯檜曾地区の土砂災害



林 誠行 議員

「大型店出店」、小売業者支援策は

町長 様々に展開しており、連携事業で商工会に頑張ってもらっている

問 この秋、大型店が出店し、町内商店への影響は。

品普及事業促進補助金」などに取り組んでいる。

答 町長 地域の小売り店舗が減っているというの事実。大型店同士の競合というのが非常に大きい。

問 大型店には期待の声もある。地域住民のよりどころの小売店が廃業で、高齢者などがますます不便になる。小規模企業の振興について、これまでの対応と今後の方向は。

答 町長 商工会との連携で、「福祉サポート事業」「買い物弱者支援事業」を展開している。

まちづくり交流課長 「持続化補助金」や大型店舗で利用できない「地域振興券」「地場産



遊神館にある直売所「入恋横丁」

問 衣料品、生鮮食品を扱う店が格段に少なくなっている。道の駅や直売所の充実を図り、生産者への支援と消費者への安心・安全を提供することへの考えは。

答 町長 道の駅は、防災拠点としての整備と情報センターとして、ATM機能等を充実させたい。直売所の魅力は、新鮮さであり、安心・安全であること。手段や目的が多様であるので、指定管理や運営しているところと意見交換する中で指導に当たっていききたい。

問 一昨年、この項目で質問した。改善しているように見えるが町長の見解は。

道路の環境改善について

答 町長 ポイントを定めて、県の方に要望する。

答 町長 若干改善されたかと思うが、区間によって配慮しながら進めてくれていると思う。

地域整備課長

国道及び県道は、定期的な維持管理がされている。予算が限られている等で、実施回数も限られてしまう状況。指摘があれば、その都度関係機関にはつなぎたい。

問 黒岩八景は、雨が降った後、水が貯まることで、水はけが悪く車のハンドルがとられるような状況がある。

答 町長 ポイントを定めて、県の方に要望する。



前田 善成 議員

深刻な夜間の小児診療対策は

町長 広域圏で頑張っているというものが現状

問 3歳以下の乳幼児などの夜間医療の環境は大切だ。小児科の医師不足の中、町の対応は。

答 町長 専門医が常駐できる状況ではないが、医師の配置は重要課題として広域圏で取り組んでいる。

問 親がパニックにならない様に医師会の推薦する「子ども救急ってどんなどき？」という冊子を使い緊急時の対応、連絡の仕方の指導をしてはどうか。

答 町長 病状を見極めることが大事なので、有効的なパンフレットがあるのであれば活用したい。



問 群馬県の夜間医療相談電話#8000は、同じ母親である看護師さんという安心感から2万2500件の相談があるが、町でも保健師さんたちを活用した独自の電話相談の考えは。

答 町長 相談相手がいれば、母親の不安な気持ちが解決できるので、独自の電話相談の展開は人材を含め、担当課と相談・研究したい。

問 15歳までの子どもの死亡率は4才までが約80%である。親は専門医の診療と処方箋を出してもらいたいが、その解決・方策の考えは。

答 町長 新たな対応が利根沼田医師会の共通認識であれば次の段階として進めていくことになるだろう。町の医療体制の強化は、広域圏でやっけていくのが適切と思う。

問 予防医療は大切で、5才までの全ての予防接種を無料化の考えは。

答 町長 子どもの予防接種の助成は、「安心・安全な町づくり」で必要なことなので強化したい。

問 小児医療は少子高齢化・過疎化の対策の一つである。大分県竹田市は、大学病院と連携し独自の補助制度で小児医師を確保し、診療所を造り出生率2人以上に出来たが、この考えは。

答 町長 利根沼田で医療問題に取り組んで行くことは大変重要だ。大学病院との連携も更にやっけていく必要がある。

あの提言は？

議員が行う質問や提言が町政にどう反映されているか、追跡してみました。

平成27年6月定例会

問 町民サービスの充実について。聴覚障害のある方が気軽に窓口を利用できる耳マーク設置の考えは。

答 ぜひ設置したい。



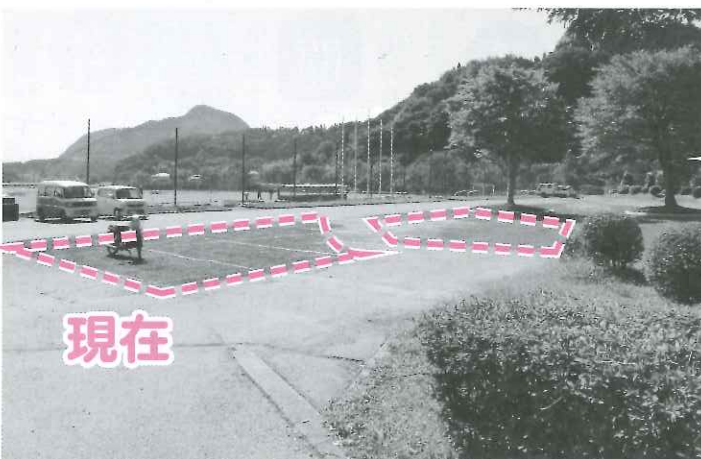
役場庁舎カウンターに設置された「耳マーク」



平成27年6月定例会

問 月夜野緑地広場の駐車場について、白線が消え無駄な止め方もある。土砂置き場となっている所など舗装できないか。

答 緑地広場となっているが、新たにニーズに対する整備に目的を変えていくこともあると思う。

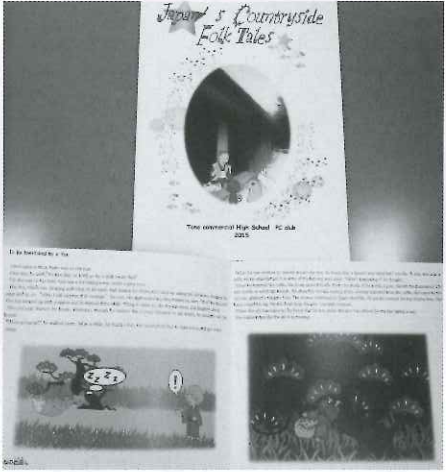


整備された緑地広場



最優秀賞受賞！ みなかみ町の 民話が英訳の絵本に

8月に商業系高校による研究発表において、みなかみ町の民話を英訳の絵本と電子書籍にまとめた利根商 PC 部さんが、群馬県内に於いて栄えある最優秀賞に輝かれました。この素晴らしい活動と業績をお伝えさせていただきます。これからも益々ご活躍を願っております。



最優秀賞を受賞した作品

アドバイス

～編集モニター(利根商高 PC 部)より～

今回もたくさん頂いたアドバイスのの中から、次の3項目に注意をして変更を加えてみました。まだまだ力不足ですが、読者の皆様から「見やすくなった」「内容が分かりやすくなった」等のご意見を頂きました。更に伝わりやすくなるよう努力をしていきます。ご意見等もどんどんお待ちしておりますのでよろしく願います。

- ① 一般質問は、同じ質問を粹でくくる。質問と答えの区別をつける。
- ② 文章の途中にイラストなどを入れない。
- ③ 中紙面の青色をできる限り表紙の青色と統一する。

訂正とお詫び

前回41号の4頁に「請願件名」と「請願人」についての表記が漏れていました。訂正しお詫び申し上げます。

請願件名

政府に対して「国際平和支援法」「平和安全法制整備法案」(戦争法案)の撤回を求める意見書提出を求める請願書

請願人

戦争をさせない利根沼田実行委員会
実行委員長 木村 朝次郎

編集後記

「合併10周年の秋を楽しむ」

四季折々を楽しめる、恵まれたみなかみ町。特に紅葉をはじめ、食欲の秋、文化・芸術の秋、スポーツの秋、等々の正に秋まった中、皆さんもどっぷり浸かり「みなかみの秋」を十分に堪能し、合併10周年を迎えた今年「みなかみの秋」を再認識したり、新発見されたいかがでしょうか。 (石坂)

「こども議会」開催のお知らせ

11月10日(火) pm13:30より役場本庁舎6階議場にて

議会だより編集特別委員会

- 委員長 …中島 信義
- 副委員長 …森 健治
- 委員 …石坂 武/山田 庄一
原澤 良輝/高橋久美子

傍聴(席数は34席)

次回の定例会は
12月1日(火)～10日(木)
予定です。

場所：役場本庁舎6階議場

ぜひ一度、本会議を傍聴してみませんか。



— 移住・定住シリーズ⑥ —

世界の桃源郷「藤原」をめざって

一般社団法人みなかみ町体験旅行(常務理事 北山郁人氏 41歳(藤原区) 電話 090(4062)4040

今回は、平成20年に移住

以来、自然体でありながら積極的な活動をし、複数の団体の役職へ就かれ、現在では講師依頼も多く、多方面でご活躍されている方のご紹介です。

— 現在はどうな仕事をされていますか？

一般社団法人みなかみ町体験旅行(常務理事)は、町内の地域資源を利用し、主に学校団体の林間学校や修学旅行の受入れを中心に、地域活性化に貢献する事業を展開しており、生計の主となる仕事です。

— どうやって、みなかみ町を知り、何故みなかみ町を移住先を選ばれたのですか？

環境教育や体験学習をベースに、地域づくりができる場所を探して全国を歩き回り、たどり着いたのが藤原でした。森林塾青水の活動も魅力の一つでした。

首都圏からのアクセスの良さ、自然の雄大なさなど、これほど条件のいい場所は、なかなかありません。以前は、東京都奥多摩町という藤原よりも田舎に住んでいたのですが、妻も子ども2人(当時1歳と3歳)も抵抗なく移り住めました。

とは？

— 最初の町の印象と移住して良かったことは？

せっかくすばらし自然景観があるのに、廃墟や不要な看板が多く残念だなど思いました。良かったことは、よそ者でも地域の獅子舞に参加させていただいたり、組長を仰せつかったり、地元民として受け入れてもらえていることです。

— 逆にお困りのことは？

自分のこともたちが藤原小学校の最後の生徒になってしまいそうなことです。

— 夢や抱負は？

藤原の小中学校が持続できるよう、若い人が定住できる地域を作っていきたい。4月から移住支援のホームページを開設しました。(http://playfujiiwara.net)すでに10月から1組の家族の移住が決まり、問い合わせも多くなっており、まだまだ、可能性は十分にあると思っています。

— 我々議会に一言お願いします。

議会の皆さんと話をできる場を作りたいと思います。一緒に地域づくりをしていきたいです。また、空き家バンクなどは、地域の実情に合った制度設定にして、利用しやすいシステムにしていきたいです。

— 最後に読者の皆さんへメッセージをお願いします。

こんなに魅力的な地域資源にあふれた町は、全国的に見てもそれほどありません。ぜひに世界中から人が集まる素敵な場所にすることができそうですので、あきらめずに頑張りましょう。



北山さん一家

？みもせとクイズ

問題

町10周年「みなComing体操」を宣伝する「みなかみ18湯」をモチーフにしたキャラクター「泉極娘(ガールズ)」は何人？

- (A) 8人 (B) 10人 (C) 18人

前回の議会だより41号ふるさとクイズの正解は「Bの10歳」でした。たくさんのご応募、ありがとうございました。

★ 正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈いたします。ぜひご応募ください。

応募のきまり

ハガキに住所・氏名・答えとご意見ご感想を記入して、下記宛にご応募ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ町議会事務局 議会だより「ふるさとクイズ」係
締切：平成27年11月30日(当日消印有効)
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。